

教材の活用場面

活用した教材	ネット、アプリ、生成 AI で調べるときは…？（教材番号 C5-6）		
教材URL	https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/html/000272.html		
STEP	STEP 5	領域	C 情報モラル・セキュリティ
学校名	都立日野高等学校	校種	全日制普通科
学年	第 1 学年	教科等	数学 I
単元名	第 3 章 2 次関数 第 3 節 2 次方程式と 2 次不等式		
活用の概要	数学の問題を自力で解く生徒と、ネット、アプリ、生成 AI などを用いて解く生徒に分かれ、解く速さと正確さに差がみられるかを検証する。		

活用の様子

【ポイント1】 ●全体に「効率的な情報活用」の方法を紹介



「目的に応じてアプリやインターネット上のサービスを効率的に利用できる」の項目について、全体にデジタル教材を用いて説明する。

【ポイント2】 ●一人1台端末でクイズ教材を行う



「ネット、アプリ、生成 AI で調べるときは…？」のクイズを行い、簡単に得られる情報の注意点について学ぶ。理解に及ぶまで、何度でもチャレンジすることができる。

【ポイント3】 ●Class Notebook で画面を共有しグループワーク



「自力で解く」班と「ネット、アプリ、生成 AI」班に分かれて活動する。共有スペースに答案を作成し、どちらがより早く模範解答を作成できるかを検証する。

授業中の活用ポイント

段階	●主な学習活動・生徒の活動	○支援・留意点■デジタル教材☆評価
導入	<p>●「とうきょうの情報教育～情報教育ポータル～」の説明（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とうきょうの情報教育～情報教育ポータル～」の web ページを確認させ、本ポータルに SNS 利用やデジタルリテラシーについての要点がまとめられていることを確認させる。 	<p>■一人1台端末を操作し、「とうきょうの情報教育～情報教育ポータル～」の web ページを開く。</p> <p>○「情報活用能力デジタル教材」の web ページを閲覧し、どのような教材があるのかチェックする時間とする。</p>
展開	<p>●「ネット、アプリ、生成 AI で調べるときは…？」のクイズを行う（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ネット、アプリ、生成 AI で調べるときは…？」のページを開かせ、クイズを解かせる。 ・解説を入念に読ませることで、調べ学習の際の注意点を理解させる。 <p>●グループワーク（30分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1クラス10班に分け、「自力で解く」グループ、「情報を活用して解く」グループそれぞれ5班ずつ分担する。 ・数学の大学入試問題の過去問を5問用意し、それぞれの班に別々の問題を解かせる。 	<p>■「ネット、アプリ、生成 AI で調べるときは…？」のクイズを行う。</p> <p>○5問中何問正解できたか、簡単にアンケートをとっても良い。すべての項目について、ニュースなどを引用した解説を行う。</p> <p>■Class Notebook を用いて、答案を共有する。</p> <p>■情報活用グループは、一人1台端末を用いて、web 検索や生成 AI を活用する。</p>
まとめ	<p>●グループ内でのまとめ（7分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答案を作るうえで活用した検索エンジンや生成 AI などについて、振り返りアンケートを行う。 ・検索結果や生成 AI が出した解答が必ずしも正答ではないことを再確認する。 ・どちらのグループも事後学習として、模範解答の作成まで終わらせる。 	<p>■Forms を利用して振り返りを行う。</p> <p>☆情報活用能力が身に付いているかどうか、資料を活用して誤った情報に惑わされずに答案を作成できているか、正答まで粘り強く取り組んだかを、総合的に評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>